

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 1 月 22 日 (2009.1.22)

【公表番号】特表 2008-522342 (P2008-522342A)

【公表日】平成 20 年 6 月 26 日 (2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報 2008-025

【出願番号】特願 2007-544271 (P2007-544271)

【国際特許分類】

G 1 1 B 27/034 (2006.01)

G 1 1 B 27/00 (2006.01)

G 0 6 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 27/034

G 1 1 B 27/00 D

G 0 6 F 12/00 5 4 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 28 日 (2008.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ローカルストレージのデータファイル管理方法であって、

(a) コンテンツプロバイダから少なくとも一つのデータファイルをダウンロードしてローカルストレージ内に保存し、前記保存されたファイルを用いてバインディングユニット (binding unit) を形成するステップと、

(b) 前記バインディングユニット内の特定ファイルを削除するとの命令を受信すると、前記バインディングユニット内のファイルを全て削除するステップとを含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記ローカルストレージ内にデータファイルを保存するとき、対応するディスク単位にデータファイルを保存することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

ローカルストレージのデータファイル管理方法であって、

(a) コンテンツプロバイダから少なくとも一つのデータファイルをダウンロードしてローカルストレージ内に保存し、前記保存されたファイルを用いてバインディングユニット (binding unit) を形成するステップと、

(b) 前記バインディングユニット内の特定ファイルを削除するとの命令を受信すると、削除すべき特定ファイルを含むタイトルに関連した全てのファイルを削除するステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 4】

前記バインディングユニットは、前記タイトルに関する情報を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記タイトルに関連した全てのファイルを削除した後に、バインディングユニット内の

データベースファイルを変更するステップをさらに含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記データベースファイルは、インデックスファイルであることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記データベースファイルは、オブジェクトファイルであることを特徴とする請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ローカルストレージ内にデータファイルを保存するとき、対応するディスク別タイトル単位にデータファイルを保存することを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 9】

前記タイトルに関する情報は、バインディングユニットマニフェストファイル (Binding Unit Manifest file) に含まれてダウンロードされることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 10】

ローカルストレージのデータファイル管理方法であって、

(a) コンテンツプロバイダから少なくとも一つのデータファイルをダウンロードしてローカルストレージ内に保存し、前記保存されたファイルを用いてバインディングユニット (binding unit) を形成するステップと、

(b) 前記バインディングユニット内の特定ファイルを削除するとの命令を受信すると、削除すべき特定ファイルのみを削除し、前記ファイル削除に関連するデータベースファイルを修正するステップと

を含むことを特徴とする方法。

【請求項 11】

前記ローカルストレージ内にデータファイルを保存するとき、対応するディスク別コンテンツ単位にデータファイルを保存することを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記コンテンツ単位に構成されたローカルストレージファイル構造において、コンテンツごとにそれぞれのプレイリストファイルを含むことを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

前記データベースファイルは、インデックスファイルであることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 14】

前記データベースファイルは、オブジェクトファイルであることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 15】

ローカルストレージのデータファイル管理装置であって、

記録媒体からデータを読み取るピックアップと、

前記記録媒体のデータに関連付けられた少なくとも一つのファイルをダウンロードして保存するローカルストレージと、

前記ローカルストレージ内に保存されたファイルを用いてバインディングユニットを形成し、前記バインディングユニット内の一又は複数の特定ファイルを削除するとき、ディスク単位、タイトル単位またはコンテンツ単位の何れか一方式でファイル削除を行うことを制御する制御部と

を備えたことを特徴とする装置。

【請求項 16】

前記制御部は、BD-Jアプリケーションを有し、該BD-Jアプリケーションを用いて前記ローカルストレージ内にファイルをダウンロードして保存することを特徴とする請求項

１５に記載の装置。

【請求項１７】

前記制御部は、レジデントアプリケーション（resident application）を有し、該レジデントアプリケーションを用いて前記バインディングユニット内の一又は複数の特定ファイルを削除することを特徴とする請求項１５に記載の装置。

【請求項１８】

ローカルストレージのデータファイル管理方法であって、  
コンテンツプロバイダから少なくとも一つのデータファイルをダウンロードするステップと、

前記データファイルを前記ローカルストレージに記憶するステップと、  
前記データファイルを用いてバインディングユニットを形成するステップと、  
前記バインディングユニットに含まれる前記データファイルを削除するステップと  
を含むことを特徴とする方法。

【請求項１９】

前記データファイルを削除するステップは、タイトルに関連付けられる全てのファイルを削除するステップをさらに含むことを特徴とする請求項１８に記載の方法。

【請求項２０】

前記データファイルは、ストリームファイルであることを特徴とする請求項１８に記載の方法。

【請求項２１】

前記バインディングユニットは、前記タイトルに関連付けられる情報、すなわち、タイトル関連情報を含むことを特徴とする請求項１８に記載の方法。

【請求項２２】

前記データファイルを削除した後に、前記バインディングユニットに含まれるデータベースファイルを変更するステップをさらに含むことを特徴とする請求項１８に記載の方法。

【請求項２３】

前記データベースファイルは、インデックスファイルであることを特徴とする請求項２２に記載の方法。

【請求項２４】

前記データベースファイルは、オブジェクトファイルであることを特徴とする請求項２２に記載の方法。

【請求項２５】

前記データベースファイルは、各ディスクのタイトル単位で前記ローカルストレージに保存されることを特徴とする請求項１８に記載の方法。

【請求項２６】

前記タイトル関連情報は、バインディングユニットマニフェストファイルに含まれて、ダウンロードされることを特徴とする請求項２１に記載の方法。